



会員事業者へ聞く

会議所活用事例



シーティング工房Haru

代表者：末廣 肇
所在地：山口市江崎2843-3
TEL：083-989-5553
定休日：土・日・祝
営業時間：9:00～18:00
事業内容：福祉機器製造販売
HP：<https://www.seatingharu.com/>



活用した制度 小規模事業者持続化補助金※

■信頼を積み重ねて創業15周年

弊社は、山口市江崎を拠点に、お客様一人ひとりに合わせたシーティング機器や車椅子、姿勢保持装置等を製造販売する事業を営み、おかげさまで創業15周年を迎えました。元々家具職人だった代表が縁あってこの業界に入り、10年間の修行を経て独立。当初は入金サイクルの関係で資金繰りに苦労しましたが、地道な努力と丁寧な仕事で信頼を積み重ね、現在ではスタッフ5名を擁するまでになりました。

■刺繍によるパーソナライズ化で大手と差別化

2023年には刺繍ミシンを導入。きっかけは九州の大手メーカーの進出で、差別化を打ち出す必要性があったからです。以前、手縫いの刺繍でお客様に大変喜ばれた経験が導入のヒントとなりました。車椅子は公定価格が設定されているため、刺繍サービスは価格転嫁が難しく、大手メーカーが参入しにくい分野です。刺繍によりオリジナリティを高めることで、お客様の満足度向上と受注拡大を目指しています。



持続化補助金で導入した刺繍ミシン

■持続化補助金が必要な事業展開を後押し

今回の刺繍ミシン導入には持続化補助金を活用しました。補助金は手続きが難しいのではと懸念していましたが、商工会議所に相談しながら進めることができ

ました。導入後の報告作業には一定の手間はかかりましたが、結果として、新たな一歩を踏み出すための良い機会になったと思います。

■健康経営で持続的なサービス品質を追求

競合他社の廃業により弊社の受注エリアは拡大し、製造が追いつかない状況ですが、製造スタッフ同士で相談・工夫しながら納期短縮に試行錯誤を重ねています。同時に、限られた人員で質の高いサービスを持続的に提供するため、社内ジムの設置やカヤックフィッシングを通じたリフレッシュなど、健康経営にも積極的に取り組み、生産性の維持・向上を目指しています。



社内ジム

■地域福祉を支え、ユーザーの暮らしを豊かに

適切なシーティングが施された車椅子等は、利用者の生活の質を高めるだけでなく、長期的な医療費の削減にも貢献する重要な福祉ツールです。また、納品後も継続的な調整が必要となるため、きめ細やかな対応が可能な地元業者の存在は、地域社会にとって不可欠です。これからも福祉機器ユーザーの安心と快適な生活を支えるため、スタッフ一同頑張っていきます！

※小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が働き方改革や物価高騰等の環境変化に対応するため、自ら策定した経営計画に基づく地道な販路開拓等の取組の経費を一部補助することで、生産性向上と持続的発展を支援するものです。